

新潟県におけるカエデ属の絶滅危惧種

石 沢 進

カエデ属の植物が絶滅、絶滅危惧Ⅰ類、絶滅危惧Ⅱ類にランクされた国および新潟県の種はない。しかし、すべての種が絶滅の心配がないわけではない。

新潟県（2001年）の「レッドデータブックにいがた」でカエデ属の絶滅危惧種には、次のような種が対象になっている。

準絶滅危惧種（NT）：チドリノキ（ヤマシバカエデ）

地域個体群（LP）：アサノハカエデ、ホソエカエデ、
ウリカエデ、カジカエデ、
ウラゲエンコウカエデ

準絶滅危惧種（NT）

チドリノキ：本種は県内では、南西部にやや広く分布し、北では県中部の三島郡出雲崎町や中蒲原郡村松町に隔離している。いずれの生育地も低海拔に限れている。日本海側

の北限は村松町であり、ここでの生育状況は良く、開花・結実している。尾崎富衛・関 繁雄両氏の調査した生育地の植生は次頁のようである。また、その付近の生育状況は下の写真のようである（写真1・2）。

地域個体群（LP）

アサノハカエデ：県南部の中頸城郡妙高高原町、南魚沼郡湯沢町、中魚沼郡津南町などに分布している。それらの町に接する長野県や群馬県などでは各地に多くの個体がみられるが、県内の生育地では、個体数が少ない（写真3・4）。

ホソエカエデ：中頸城郡妙高高原町その他、上越市白河内沢に記録がある〔丸山吉夫（1982）新潟県生態研究誌 第2号 51〕。（写真のホソエカエデは葉裏の基部葉脈の分かれ目の膜がほとんどないので、別の変異体の可能性もある）（写真7）。



チドリノキ生育地の植生調査票

調査地：新潟県中蒲原郡村松村桑沢

(地形) 斜面、谷 (風当) 弱 (土壌) 褐森 (日当) 中陰 (土湿) 適

(階 層)	(優占種)	(高さ m)	(植被率%)	(胸径 cm)	(種類)
I 高木層	ケンボナシ	25~20	70	40	
II 亜高木層	アカシデ	7~4	90		
III 低木層	ハイイヌツゲ	5~1	15		
	キブシ	~2	10		
IV 草本層	クジャクシダ		25		
V コケ層					

(群落名) ケンボナシ-アカシデ群落 (チドリノキを含む) 1981年 6月20 調査者 尾崎、関

S	D・S	V	S	P	P	S	D・S	V	S	P	P	S	D・S	V	S	P	P
I	2・2		ケンボナシ			+			ウリノキ			+			トリアシショウマ		
	1・1		ケヤキ			+			チシマザサ			+			オオバギボウシ		
						+			タニウツギ			+			イヌワラビ		
II	3・3		アカシデ			+			ヤマウルシ			+			キバナアキギリ		
	1・2		フジ			+			エゾツリバナ			+			リョウメンシダ		
	2・2		ヤマモミジ			+			エゾアジサイ			+			イワガラミ		
	1・1		アワブキ			+			チドリノキ			+			ユウガギク		
	1・1		チドリノキ			+			ウゴツクバネウツギ			+			コシノチャルメルソウ		
	++		ミズナラ			3・3			クジャクシダ			+			オクモミジハグマ		
	+		アブラチャン			2・3			ウワバミソウ			+			トボシガラ		
	+		マルバマンサク			1・1			カメバヒキオコシ			+			オオバコ		
	+		エゴノキ			1・1			クサアジサイ			+			オオハナニガナ		
	+		ツルウメモドキ			1・1			ダイモンジソウ			+			アカソ		
						+			コシジシモツケ			+			セキショウ		
III	1・1		ハイイヌツゲ			+			カラマツソウ			+			シシガシラ		
	+		キブシ			+			フキ			+			ジュウモンジシダ		
	+		ガマズミ			+			ゼンマイ			+			クルマバナ		
	+		モミジイチゴ			+			クサボタン			+			オオバギボウシ		
	+		ユキツバキ			+			ユキノシダ			+			イヌワラビ		
	+		フジ			+			ミゾシダ			+			キバナアキギリ		
	+		スギ			+			カニツリグサ			+			リョウメンシダ		
	+		ムラサキシキブ			+			ショウジョウバカマ								
	+		ヒメアオキ			+			チョウジギク								

ウリカエデ：現在、中頸城郡妙高高原町に確認しただけである。生育地に近接してゴルフ場が開設されている。ゴルフ場の開設前の調査でその生育が確認されたので、ゴルフコースに計画予定地であったが、コースを変更してウリカエデの生育地は辛うじて避けて守られている(写真5・6)。

カジカエデ：東頸城郡松之山町や糸魚川市来海沢の他、糸魚川市頭山に記録がある[丸山吉夫(1982)新潟県生態研究誌 第2号 49(写真8)]。

ウラゲエンコウカエデ：県内では糸魚川市小滝明星山(山頂)に記録があるだけである。

以上の地域個体群(LP)として類型したカエデの種は生育地が限られ、また生育する個体もそれほど多くないので、土地の改変が行われれば消滅してしまう可能性が大きい。それらの生育地は大切に保護しておくことが切望される。

新潟県におけるカエデ属の絶滅危惧種



写真1・2 チドリノキ (ヤマシバカエデ) 中蒲原郡村松町桑沢 [May 17, 1981]

写真3 アサノハカエデ
中頸城郡妙高高原町杉野沢苗名滝道 [May 11, 1994]写真4 アサノハカエデ 南魚沼郡湯沢町浅貝三国峠道
[Oct. 11, 1981]写真5 ウリカエデ 中頸城郡妙高高原町関川
[Oct. 19, 1993]写真6 ウリカエデ 中頸城郡妙高高原町関川
(出雲崎町栽培) [Aug. 19, 2001]写真7 ホソエカエデ 中頸城郡妙高高原町関川
(出雲崎町栽培) [Aug. 19, 2001]写真8 カジカエデ 糸魚川市来海沢 (海谷溪谷)
[July 8, 2000]

雪国の植物 ユキツバキ 21 新潟県におけるユキツバキの分布圏とカエデ属の分布



写真1 ヤマモミジ・ユキツバキ共存 山北町日本国
[July 5, 2001]



写真2 コハウチワカエデ・ユキツバキ共存 山北町日本国
[July 5, 2001]



写真3 ハウチワカエデ・ユキツバキ共存 山北町日本国
[July 5, 2001]



写真4 エゾイタヤ 山北町寒川狐崎 [May 5, 1979]
ユキツバキ分布圏外で主に海岸沿いに分布



写真5 テツカエデ 黒川村頼母木山 [Aug. 28, 1986]
ユキツバキ分布圏内にも稀に分布



写真6 ナンゴクミネカエデ 飯豊連峰(七森) [July 19, 1988]
ユキツバキ分布圏外で主に亜高山帯に分布



写真7 ミネカエデ 妙高高原町高谷地火打山 [July 17, 1979]
ユキツバキ分布の上限で接するように分布